

# 資源循環型施設建設に関する説明会

日時：平成30年8月2日（木）

午後7時から

会場：清浄園2階大会議室

上田地域広域連合

上田市・東御市・青木村・長和町

# これまでの主な経緯

- 平成24年 6月 7日 広域連合から資源循環型施設建設候補地に関する新たな提案
- 平成24年11月15日、19日、23日 諏訪部地域説明会(計3回)
- 平成24年11月19日 諏訪部自治会から「ごみ処理施設計画撤回の申し入れ」
- 平成26年 5月15日 資源循環型施設建設に関する申し入れ(意見交換会等の開催)
- 平成29年 6月 4日 諏訪部自治会、下沖振興組合が対策連絡会に脱退届を提出
- 平成29年 7月19日 諏訪部自治会に対し説明会開催を依頼
- 平成29年11月～12月 秋和自治会、上塩尻自治会、下塩尻自治会における住民説明会
- 平成29年12月13日 諏訪部自治会に対し説明会開催を依頼
- 平成30年 4月 9日 諏訪部自治会役員と土屋市長が面会(説明会開催の申し入れ)
- 平成30年 5月24日 諏訪部地域 市長懇談会
- 平成30年 5月31日 サテライト市長室in清浄園(計7回)
- ～ 7月 6日
- 平成30年 8月 2日 諏訪部地域説明会

## 平成24年6月「新たな提案」以降の主な変更点

- ① 施設周辺地域への負担軽減のため、不燃物処理施設（リサイクルプラザ）は統合クリーンセンターと併設しません。民間施設の活用も含め、分離・分散する方向で具体的検討・調整を進めます。
- ② 焼却炉の構成については3炉構成を基本とします。
- ③ 温浴施設や太陽光発電メガソーラーなどの地域振興策は白紙です。今後、近接する応募地の活用を含め、地域の皆様の御意見・御要望をお聞きする中で、具体的振興策を検討します。

# 1 現在のごみ処理施設

現在、上田地域広域連合管内には、3つのクリーンセンター(広域連合所管)と2つの不燃物処理施設(上田市所管、東御市所管)があります。

- 上田クリーンセンター  
処理能力200トン/日 24時間  
昭和61年4月稼働
- 上田市不燃物処理施設  
処理能力20トン/日  
昭和61年1月稼働



- 東部クリーンセンター  
処理能力30トン/日 8時間、平成5年9月稼働
- 東御市不燃物処理施設  
処理能力10トン/日、昭和53年稼働

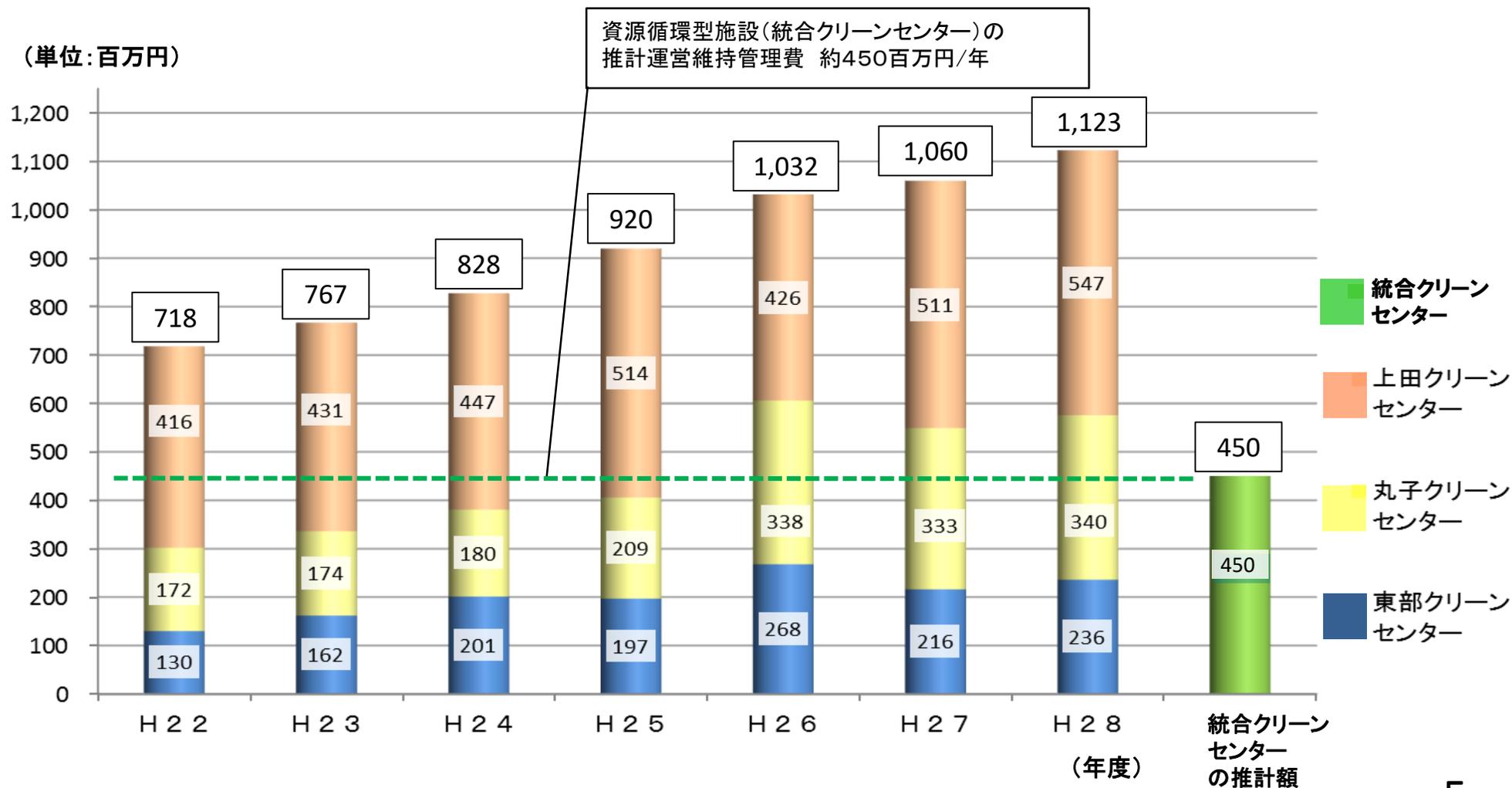
- 丸子クリーンセンター  
処理能力40トン/日 16時間  
平成4年4月稼働



いずれの施設も老朽化が進み、維持・修繕費用が年々増加しています。

# 運転管理・維持修繕費用 (近年の推移と将来推計額)

(単位:百万円)



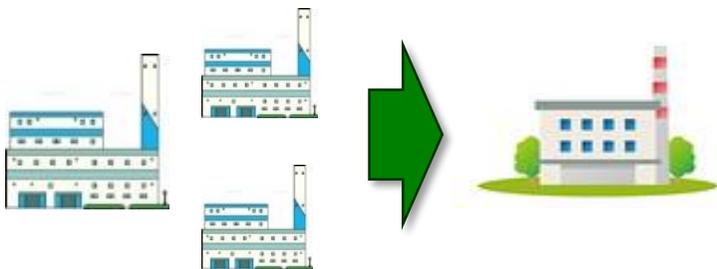
## 2 これからのごみ処理施設

上田地域広域連合では、現在の3クリーンセンターを廃止し、一つに統合した「資源循環型施設(統合クリーンセンター)」の建設を計画しています。

3クリーンセンターを統合した施設が「資源循環型施設」です。

### ○統合クリーンセンター

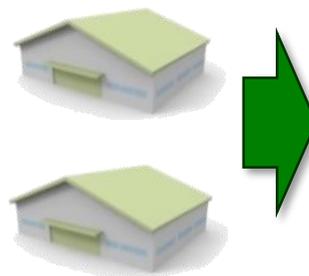
(ごみ焼却施設)



『燃やせるごみ』を焼却します。

### ○統合リサイクルプラザ

(不燃物処理施設・環境教育拠点施設)



- ・統合クリーンセンターとは併設しません。
- ・不燃物処理施設の分離・分散に向けた具体的検討・調整を進めます。

『燃やせないごみ』から資源物を取り出します。

### ○最終処分場

(広域連合施設)



焼却灰や埋立ごみを処分します。

資源循環型施設の建設地以外の市町村に建設します。

### 3 広域化を進める理由

広域化のメリットが大きいため、ごみ処理施設の統合・広域化を選択

#### ■広域化のメリット■

- ① ごみ処理施設の安定的な運転と、有害物質の排出抑制ができます。
- ② 施設を統合することで、建設費・維持管理費を大幅に削減できます。
- ③ 高効率の発電設備により、ごみをエネルギーとして再生します。
- ④ 施設の周辺環境整備を関係市町村が協力して実施します。

#### ■デメリット■

- ① ごみの収集運搬効率が低下し、運搬に係わる経費が増加します。
- ② 収集車の増加により、施設の周辺環境への影響が懸念されます。

## 4 資源循環型施設の基本方針

### 4-1 施設整備の基本方針

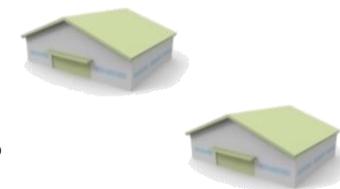
- ① 環境への負荷を低減し、安全で安定した環境にやさしい施設とします。
- ② 発生するエネルギーを回収し、資源を循環利用する施設とします。
- ③ 周辺の自然環境との調和を図り、環境教育の拠点となる施設とします。
- ④ 施設建設地の基盤整備と地域振興を図り、快適な生活環境を創造します。
- ⑤ 災害時の廃棄物処理を迅速に行うとともに、防災拠点としての機能を持つ施設とします。

## 4-2 統合クリーンセンターの基本方針



	基本方針
焼却処理能力	1日 144トン
焼却方式	ストーカ炉
焼却炉数	48トン炉を3炉構成
エネルギー回収	発電施設、余熱利用、周辺への熱供給等

## 4-3 リサイクルプラザの基本方針



- ・リサイクルプラザとして統合するというこれまでの方針を見直しました。
- ・不燃物処理施設の分離・分散に向けて具体的検討や調整を進めます。
- ・プラザ機能は統合クリーンセンターで対応します。(中古品・不用品の再生・保管・提示・交換スペース、子どもたちの学習スペース、環境関係団体等の活動拠点など)

## 6 資源循環型施設の建設候補地の選定

### 6-1 清浄園用地への提案

資源循環型施設の建設候補地選定については、過去から様々な検討が進められてきましたが、施設の建設地を決定できない状況にありました。平成21年12月からは建設候補地を公募しましたが、これについても建設地決定には至りませんでした。

これら過去の経緯を踏まえながら建設候補地選定について更に検討を進めてきた結果、平成24年6月には、**立地条件が優れ、用地買収が不要な公共用地である「清浄園用地」を建設候補地とする提案を**しました。

## 6-2 清浄園用地を候補地として選定した理由

- ① 適切な施設配置ができる面積・形状を持った公共用地です。
- ② 施設運営上不可欠な地下水の確保が容易です。
- ③ 幹線道路が周辺に整備され、収集運搬効率等が優れています。
- ④ 都市計画上の用途地域指定が工業専用地域です。
- ⑤ 埋蔵文化財、土砂災害の地区指定がありません。
- ⑥ 焼却エネルギーの有効活用について様々な施策が可能です。
- ⑦ 清浄園の機能は、別の地域へ移転します。

## 6-3 これからの進め方

地元の皆さまからは、施設建設に反対する声や、地域振興策の要望など様々な御意見をいただいています。

特に「この地域には迷惑施設が多くあり、新たな施設には反対」という御意見に対しましては、地元の皆様方の過去からの御苦労やお気持ちをご十分に尊重し、迷惑施設と懸念されていることをしっかりと認識した上で、行政として最善の対応をまいります。

今後は、意見交換会や説明会などを通して、地元の皆さまの御意見・御要望をいただくとともに、資源循環型施設についての御理解をいただきたいと考えています。

資源循環型施設に関する課題については、一つひとつ地元の皆さまと協議をさせていただき、具体的な対応方法等を明確にしていきます。

**「市長懇談会」や「サテライト市長室in清浄園」で**

**出されたご質問・ご意見に対する回答**

## 問い

清浄園周辺は、過去の選定で「不適地」になっているのではないか。

## 答え

「不適地」ではありません。過去の選定の中でも「適地」として評価されています。

- ・「清浄園隣接農地」は、平成17～18年度に選定した適地10箇所の中の一つです。
- ・更に3箇所に絞り込む段階で、清浄園隣接農地は除かれましたがより優位性のある3地区が選考されたということであり、「不適地」とは評価されていません。

## 問い

迷惑施設の集中に反対。他の地域に建設してほしい。

## 答え

清浄園用地は建設候補地に適しています。

- これまで様々な処理施設を受け入れていただいたことに心より感謝申し上げます。
- 清浄園用地は、立地条件に優れ、土地買収が不要な公共用地です。
- 平成24年6月の広域連合の提案以降、清浄園用地以外の場所を検討したことはありません。

## 問い

国は、ごみ焼却施設は市街地を避けて建設しろと言っているのではないか。

## 答え

「市街地を避ける」という基準はありません。

- ・都市計画運用指針(国土交通省)では、「工業系の用途地域に設置することが望ましい」とされており、清浄園は工業専用地域内です。
- ・近年のごみ焼却施設は、最新技術により、国の厳しい基準をクリアしており、周辺環境と共存できる安全・安心な施設建設が可能です。
- ・全国的には、市役所や駅の隣に建設されている例もあります。
- ・市街地の方が余熱の活用方法を幅広く検討できます。

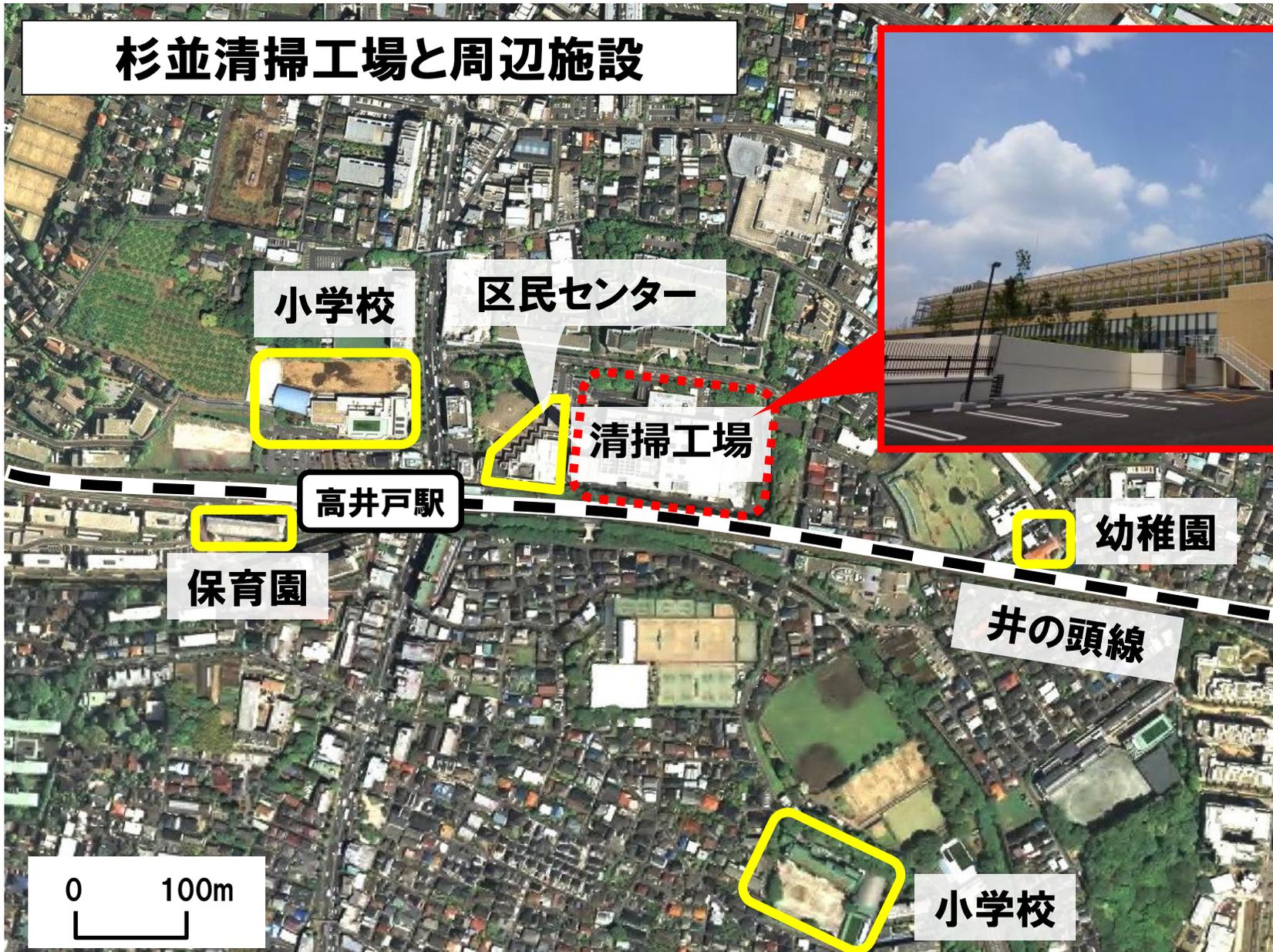
# 清浄園からの距離



縮尺 1 : 7500



# 杉並清掃工場と周辺施設



小学校

区民センター

清掃工場

高井戸駅

保育園

幼稚園

井の頭線

0 100m

小学校

# 杉並清掃工場の施設概要



清掃工場内のウォーキングロード

杉並清掃工場



清掃工場と向側のマンション



東京ごみ戦争歴史みらい館(清掃工場建物内)



足湯(清掃工場建物内)

# 武蔵野クリーンセンターと周辺施設



クリーンセンター

市民プール  
総合体育館  
陸上競技場

中学校

武蔵野市役所

小学校

小学校

成蹊学園

0 100m

# 武蔵野クリーンセンターの施設概要



クリーンセンターの外観



イベント開催状況



クリーンセンター屋上の農園



イベント開催状況

# ごみ焼却施設の環境対策・臭気対策の先進事例



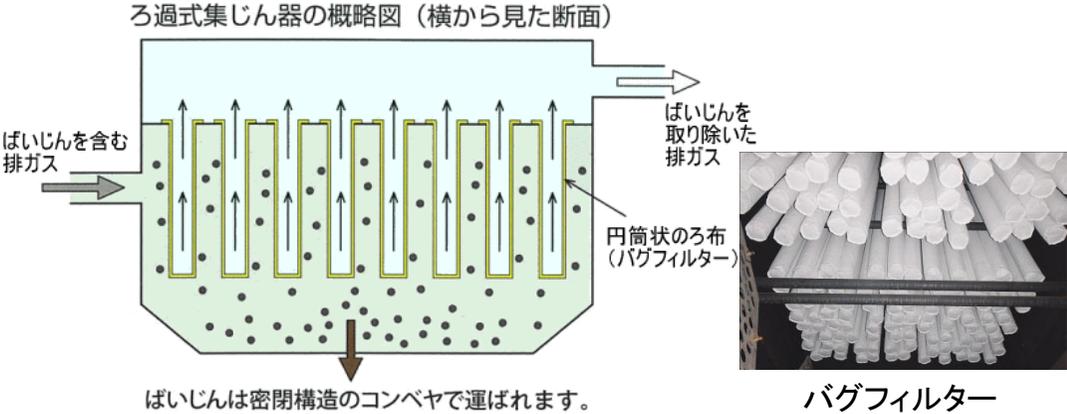
高速シャッター、エアカーテンによる臭気対策



収集車の自動洗車機



排水を施設外に出さない対策



ろ過式集じん器による排ガス対策

## 問い

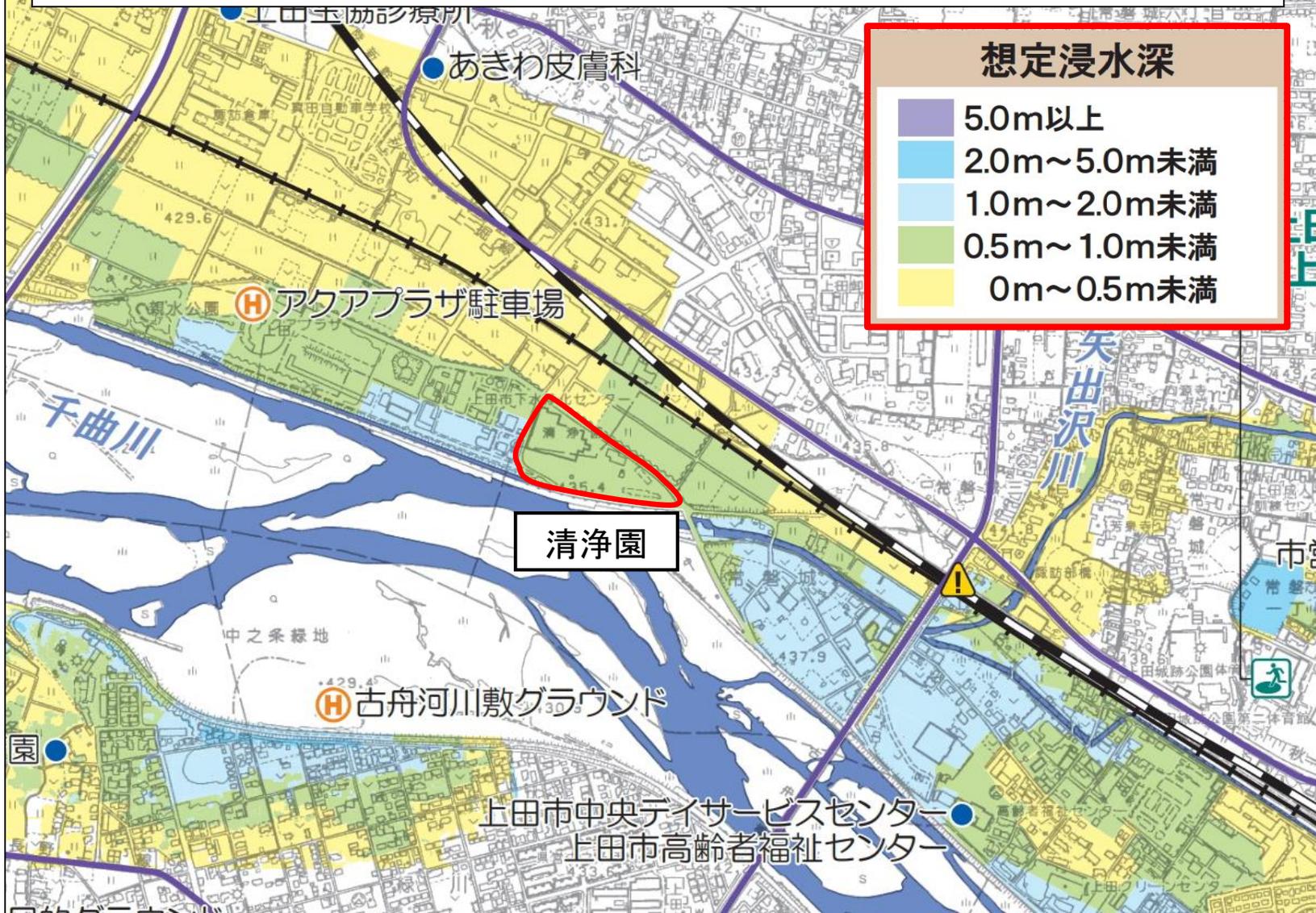
上田市災害(洪水)ハザードマップでは想定浸水区域になっている。防災上問題ないか。

## 答え

対応は可能です。

- ・施設の設計段階で、電気・機械設備を建物の高い位置に設置することや、ごみピットが浸水しごみが流出しないような対策を講じることで対応可能です。

# 上田市災害ハザードマップにおける想定浸水区域



## 問い

地元住民説明会を開催しなければ環境影響評価は着手できないのではないか。

## 答え

着手前に説明会を開催しなければならない「決まり」はありません。

- ・環境影響評価は、長野県条例により手続きの流れが決められています。着手前に説明会を開催することは決められていません。
- ・ただし、広域連合と上田市では、地域の皆様に手続きの流れ等を御説明し、環境影響評価に参加いただくことで、資源循環型施設建設に御理解を深めていただけるよう取り組んでまいります。

## 問い

資源循環型施設を建設するためには計画段階環境配慮書で建設候補地の複数案を比較しなければならないのではないか。

## 答え

今回の配慮書の手続きでは、施設配置、煙突の高さなどの複数案について比較検討します。

- ・長野県条例が改正（平成28年10月1日施行され）、計画段階環境配慮書の手続きが導入されました。上田地域ではそれ以前の平成24年6月に建設候補地（清浄園用地）が提案されていることから、一つの候補地の中で環境影響を低減する比較検討を行います。

## 問い

諏訪部自治会だけが清浄園の地元。他の自治会は地元ではないのではないか。

## 答え

秋和自治会、上塩尻自治会、下塩尻自治会も地元です。

- ・清浄園用地は、大字常磐城と大字秋和にまたがっています。
- ・清浄園と上田終末処理場の公害防止連絡員会議は、諏訪部自治会、秋和自治会、上塩尻自治会、下塩尻自治会、下沖振興組合、南部耕作者組合、柵網土地改良区の7団体で構成されています。



## 問い

清浄園を取り壊す必要はないのではないか。

## 答え

清浄園は大規模更新の時期です。

- ・全面更新した平成9年の稼働開始から20年を超えました。
- ・し尿等の処理量が大幅に減少しています。(計画の約4分の1)
- ・建設した際の補助金の返還はありません。
- ・起債の償還は平成24年度に完了しています。

## 問い

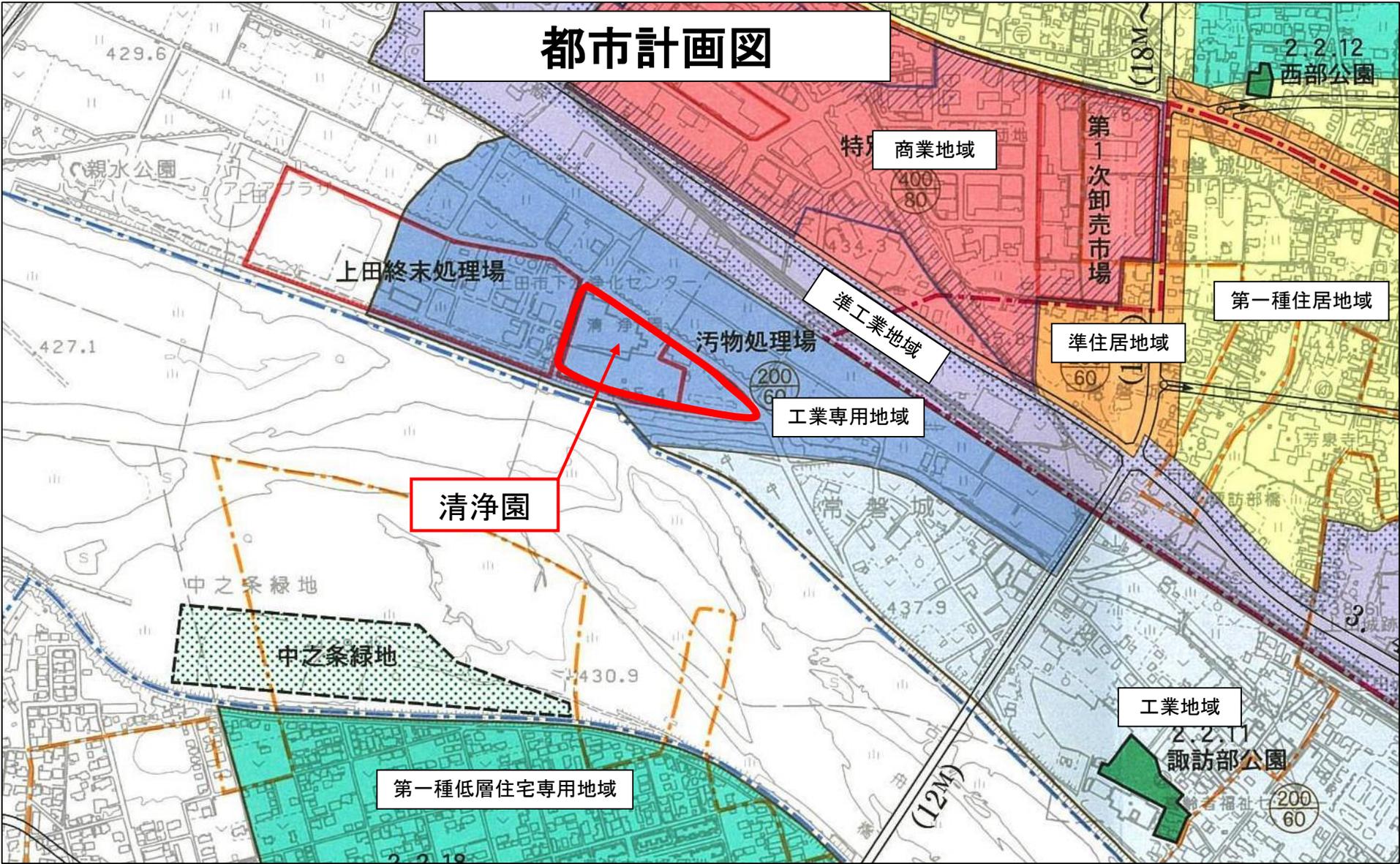
地域振興策をどのように考えているか。

## 答え

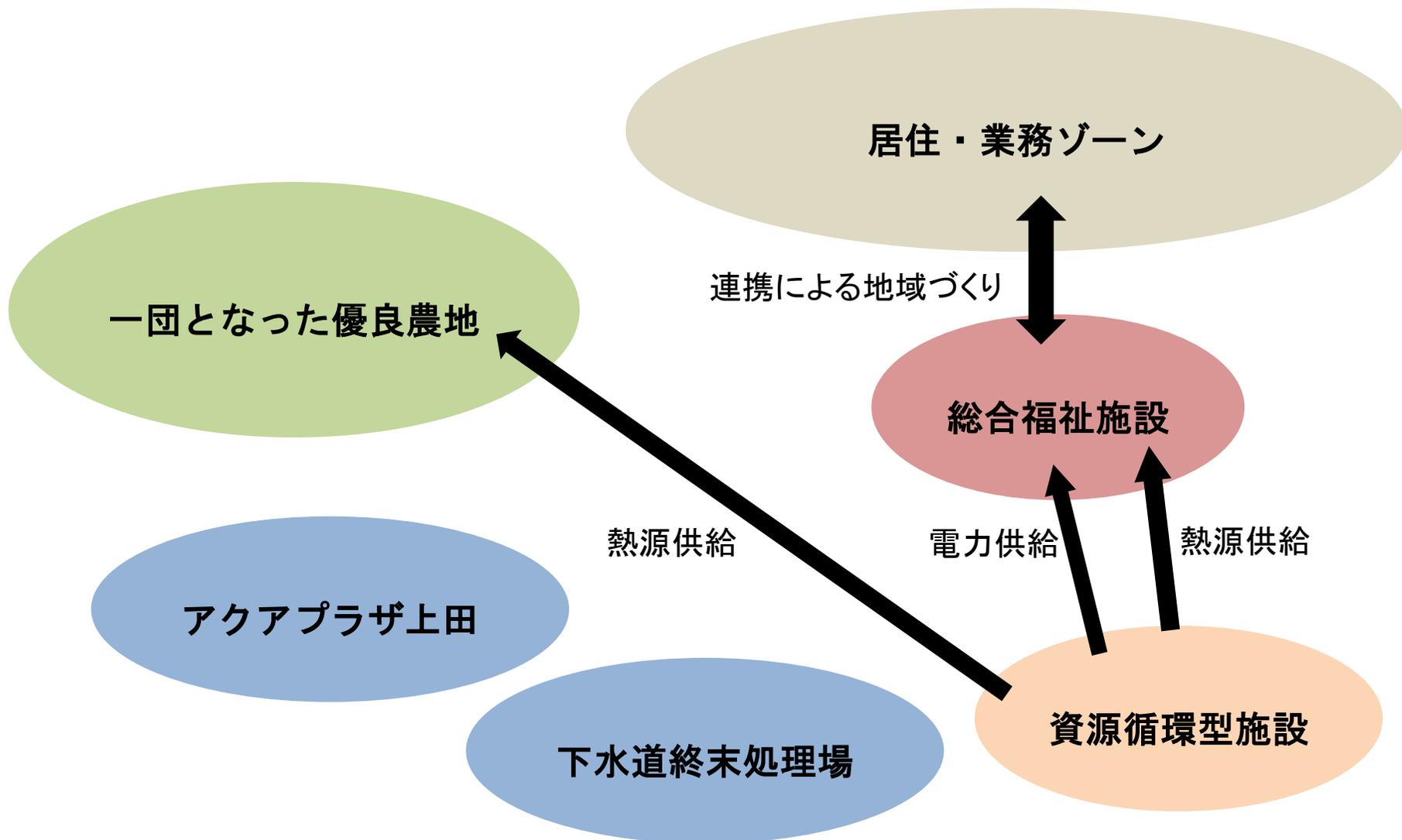
地域のイメージが下がることがないように取り組みます。

- ・地域のイメージ、価値が低下することがないように地域振興策の実現に向け積極的に取り組みます。
- ・資源循環型施設の建設により、ごみを焼却した熱を回収してエネルギーとして再利用することや、環境教育や防災の拠点とします。
- ・工業専用地域の見直しや、総合的な福祉施設の整備などについて検討を進めます。

# 都市計画図



# 地域振興のイメージ(例)



# ごみ焼却施設の余熱利用の事例

## ふじみ野市・三芳町環境センター



【余熱利用施設】



健康増進型プール



レストラン



浴室



大広間

## その他の事例

- 隣接する福祉施設等の公共施設への熱源供給(温浴設備など)

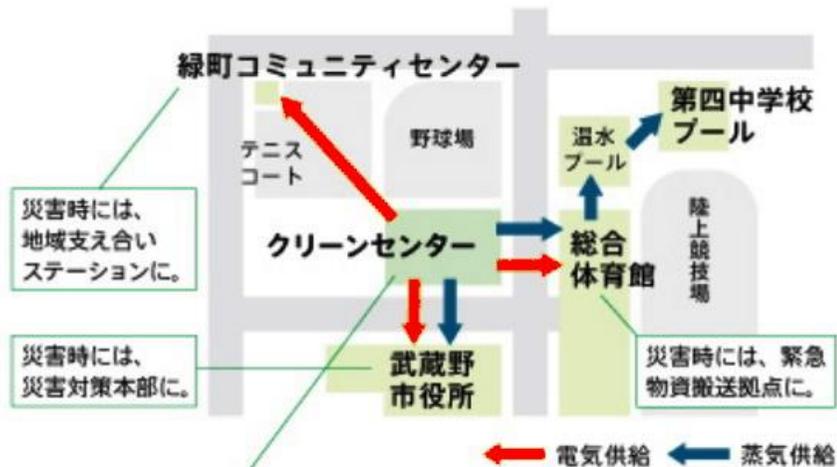


- 周辺の施設園芸への熱源供給による農業振興支援

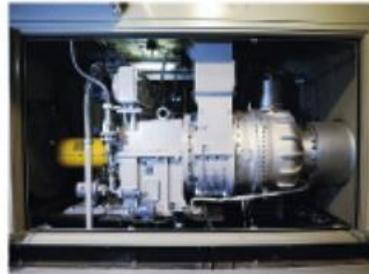


# ごみ焼却施設の電力利用の事例

## 武蔵野クリーンセンター



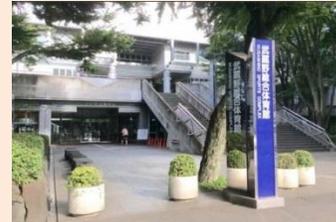
ごみ発電設備  
(蒸気タービン発電機)



ガスコージェネレーション  
設備



市役所



体育館



コミュニティセンター

## 売電収入

- 余剰電力の売却
- ・ 世田谷清掃工場など



## 問い

資源循環型施設を地元が受け入れるのに対して、集会施設等の改築や、補助金・協力金の交付など地域振興策を実施する考えはあるか。

## 答え

前向きに考えています。具体的な御要望等をお聞かせください。

- ・例えば、行政からの補助金・協力金を地元自治会や関連団体の地域振興費として活用いただくことなどについて前向きに検討します。

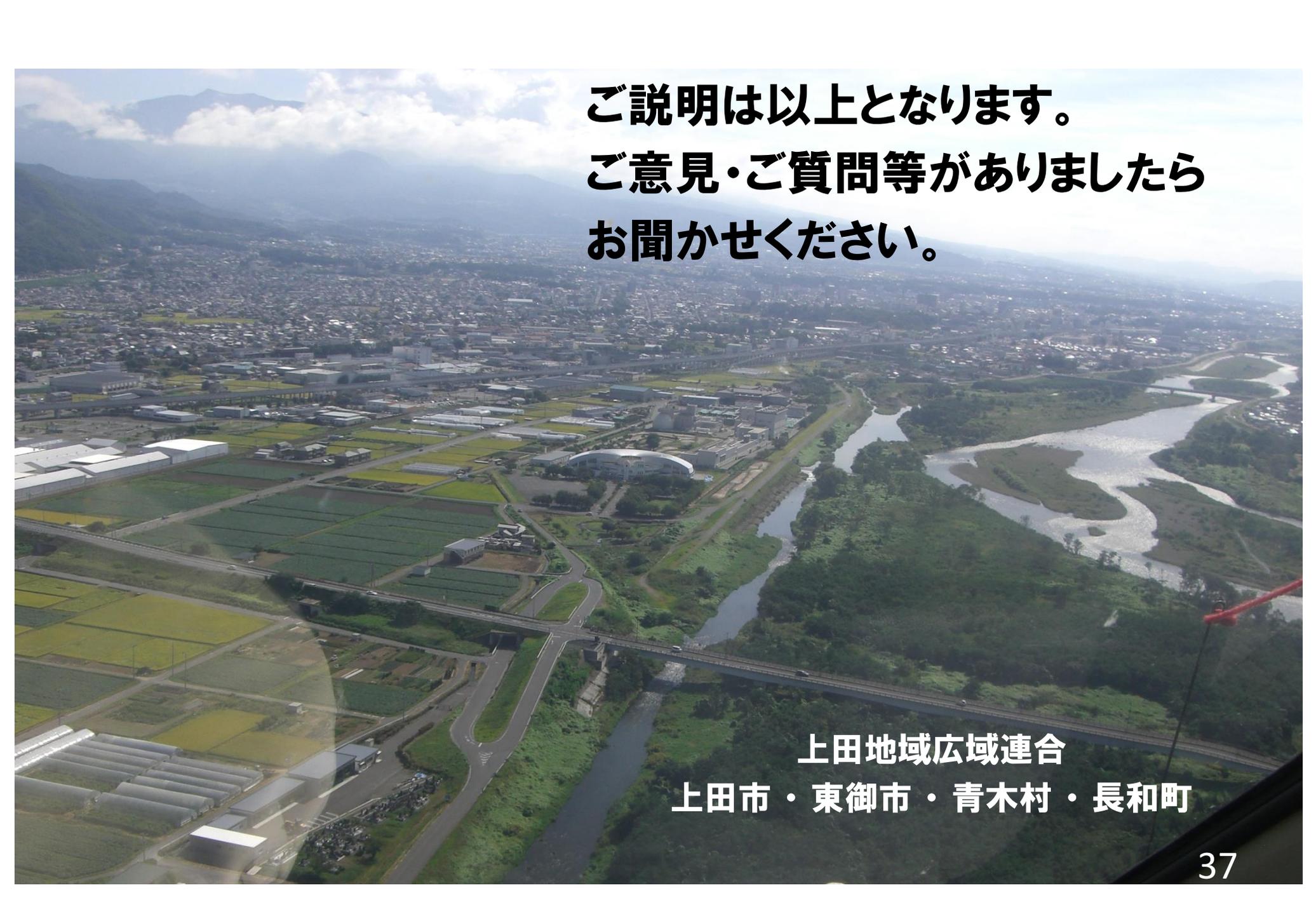
## 問い

資源循環型施設建設について、もっと知る機会を増やしてほしい。

## 答え

今後も諏訪部地域の皆様とお話しする機会を設けてまいります。

- ご連絡をいただければ、いつでも職員がお伺いし、お話をさせていただきます。
- 今後も事業の進捗にあわせて説明会・懇談会等を開催します。

An aerial photograph showing a wide river valley. The river flows from the foreground towards the background, curving to the right. On the left bank, there are several large industrial or agricultural buildings, some with white roofs. The right bank is more green and forested. In the distance, a dense urban area is visible, followed by rolling hills and mountains under a cloudy sky. The text is overlaid on the upper right portion of the image.

**ご説明は以上となります。  
ご意見・ご質問等がありましたら  
お聞かせください。**

**上田地域広域連合  
上田市・東御市・青木村・長和町**